

第10回 三・観地区 認知症を学び支える会

分科会のご紹介

分科会1 地域づくり (専門職と地域で活動されている方対象)

「認知症になっても、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるためにみなさんと話し合ってみましょう」

認知症当事者の方の声や想いを聴き、参加者みなさまが、認知症について自分事としてとらえながら認知症について考えていきたいと思えます。自分が認知症になったら？認知症の人をサポートするために大事なことは？認知症の人が安心して暮らせる地域とは？など、認知症ご本人や地域住民の皆さんと、様々な視点でディスカッションができればと考えています。

分科会2 認知症の基礎講座&施設の事例検討 (専門職のみ対象)

「“帰りたい”に隠されていたもの、語りたかったご本人の想いと」

現在の認知症ケアにおいてご本人の視点に立ったケアの必要性が問われています。しかしながら、認知症になったことにより出来なくなったことやご本人の直接的な言葉だけを頼りにケアにあたりがちになってしまいます。

今回は認知症ケアの考え方や課題の捉え方を再認識し、事例を通し、ご本人を知っていく中で“帰りたい”という言葉に隠されていた本当の想いは何だったのか、語りたかった言葉は何だったのか、そして私たちが大事にしていくケアは何なのかを一緒に考えていきたいと思えます。

分科会3 在宅支援事例検討 (専門職のみ対象)

「本人の想いを知ることから始まる在宅支援」

現在の認知症ケアにおいては、本人の視点に立ったケアの必要性が問われています。日々の認知症ケアでは、「本人の視点を重視したかわり」「個々に合わせた支援」を大切に、意識を持って関わりを行っておられると思えます。今回、立ちどまり皆さんと考えたいと思えます。「私たちは本当に実行できているのでしょうか？」

この分科会では、在宅支援にあたって本人の想いを知ることの重要性について、事例を通して考えていきたいと思えます。また、在宅生活を支援していくためには、同時に家族支援も必要不可欠です。家族支援のあり方についても検討していきます。

分科会4 知っていると役に立つ専門職のためのストレスケア (専門職のみ対象)

「ストレス理論から介護者への支援、専門職のストレスケアを考える」

今回の研修は“ストレス”がテーマです。介護をされているご家族様は兎角ストレスを抱えがちで我々支援者はストレスを軽減すべく、サポートが求められます。しかし、ストレスは目に見えるものではないだけにご家族様が自覚されていないことがあります。また、事態が複雑に入り組んでしまったことで簡単に解決できない場合もあるでしょう。今回の研修ではストレス理論を基に、性格特性とストレスの関係性や状況別サポート方法について提案したいと思えます。日々、認知症ケアに携わっている専門職の皆様にはご自身のストレスケアにも目を向けていただけるきっかけになればと思えます。